



かわいらしいパッケージに包まれた  
色鮮やかなパプリカ



**パプリカの産地化を推進**

本町は、平成23年頃から振興作物としてパプリカの生産を拡大。令和2年度からは島根県の産地創生事業補助金を活用し、産地化を目指しています。

今年度から個包装フィルムを変更し、多くの人に手に取っていただけるデザインとしました。フィルムにはQRコードも掲載し「いいなんパプリカ」のホームページを閲覧できるようにしています。

新規就農者など生産者も増加しており、今後も産地化に向け、環境整備等を推進します。



お子さまとのふれあいに活用ください

**誕生祝い品を贈呈**

本町は、今年度から子どもの健やかな成長を応援するため、お子さま誕生のお祝いに、町産材を活用した木工品を贈呈することにし、8月21日に贈呈式を開催しました。

贈呈式には、今年度誕生したお子さんと保護者の皆さまが出席。町長から祝い品を贈呈しました。

※今後は保健師の乳児訪問の際に贈呈します。

祝い品は、積み木・幼児用椅子・フォトフレームから1点を選択できます。

**姉妹都市「伊丹市」・友好交流都市「大村市」  
青少年交流事業を再開**

飯南町姉妹都市協会主催の青少年交流事業が開催されました。

令和2年度以降は、コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていましたが今年度から小学校3年生から6年生を対象に親子ツアーとして企画。8組19人が参加しました。

伊丹市との交流は8月18日から2日間行われ、市役所新庁舎の見学やFMいたみへの出演、瑞ヶ池公園でのヨットセーリングを体験。大村市との交流は8月1日から3日間行われ、ポートルース大村の花火大会や夏越まつりへの参加、大村寿司作りなどを体験しました。

今後も、伊丹市や大村市との交流を推進していきます。



伊丹市役所新庁舎前で記念撮影



大村市での大村寿司づくり体験



**炎天下、自らの限界に挑戦  
やまなみ街道クライムライド**

道の駅赤来高原を発着点に、71キロメートル、140キロメートルのコースに分かれ、やまなみ街道を巡る自転車イベント「やまなみ街道クライムライド2023」が開催されました。

県内外から約190人が参加。リタイヤする参加者も出ましたが、過酷なコースを走り抜きました。

主催した（一社）飯南町観光協会の難波さんは「地域の方が手を振って応援してくれて、参加者もとても喜んでくださいました」と話していました。



飲み物などが提供される道の駅原原の  
エイドステーションで英気を養います

8.20  
日

**万場二組が受賞**

「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」を受賞。島根県知事から表彰されました。

この賞は地域の道路、河川などの公共土木施設を大切に育てる心と、愛護活動のさらなる活性化を図るため、公共土木施設における愛護活動の功績を表彰するものです。

代表の大谷善啓さんは、「これまでの草刈りなどの活動が評価され、喜んでいる。今後も続けていきたい」話していました。



表彰式で知事と（写真：島根県提供）  
（左から後長さん、大谷さん）

8.18  
金

**多くの卒業生も集結  
飯南高校音楽愛好会  
結成5周年公演**

令和元年に結成した飯南高校生命地域ラブ音楽愛好会OBが主催する「結成5周年公演」が、ふれあいホールみせんで開催されました。

公演ではOBの「滝夜叉姫」、先日の神楽甲子園で日藝選奨を受賞した高校生の「山姥」、高校生とOB合同の「大江山」が披露されました。

主催したOB会長の中野愛翔さんは「神楽団や地域の方、保護者の皆さんに感謝しています。今後も音楽愛好会の支援を続けていきたい」と話していました。



会場には約400人が来場。会場全体が熱気で包まれました

8.27  
日

**夏休み特別企画行こう三瓶へ  
公民館5館共催事業**

町内5つの公民館が共催し、町内の小学校3年生以上の児童を対象に、三瓶青少年の家で体験活動を行いました。

午前はオリエンテーリング。コンパス、時計係などの役割を分担し、制限時間内に多くのチェックポイントを回るため、リーダーを中心に作戦を立てて行動しました。

午後は炭火でバウムクーヘンづくり。完成したバウムクーヘンを包丁で切ると、きれいな層ができ、歓声が上がっていました。



生地を垂らして、回す作業工程を繰り返しました

8.22  
火